

令和5年度 社会福祉法人博愛 事業報告

1. 今年度の重点取り組み

(1) 本部体制の整備

法人本部の機能や体制の重要性を踏まえ、本部体制の強化を図ることを取り組みに掲げていたが、不祥事案件の処理に追われ、施設見学等を実施する予定であったが、できなかった。しかし、本部機能の基盤を作ることは重要だと動き始めている。

(2) 人事評価導入に向けた基盤づくり

人事評価体制とは、組織の目標達成のために人事評価の導入について、高齢者事業部は人材不足で日々の業務に追われることから参加できないということで、障がい部門で人事評価制度導入委員会を作り進めてきました。令和6年4月から正規職員を対象として実施しています。

今後は給与との連動するような仕組みを作っていかなければならないと考えています。

(3) 労務管理

社会保険労務士法人・村松事務所と顧問契約を結び、労務関係（不祥事案件の給与、キャリアパス補助金、管理職手当等）について相談しながら進めてきました。

2. 役員

理事7名（任期 令和5年6月11日から令和7年定時評議員会終結の時）

監事2名（任期 令和5年6月11日から令和7年定時評議員会終結の時）

3. 評議員

評議員8名（任期：令和3年6月13日から令和7年度定時評議員会終結の時）

（任期：令和2年6月11日から令和6年度定時評議員会終結の時）

4. 理事会

第1回理事会（書面決議）

決議事項

第1号議案 令和5年度 みんなの作業所第1回収支補正予算書（案）について
令和5年度ゆめいくワークサポート助成事業採択に伴う補正予算

第2号議案 共同生活援助事業所きぼう 運営規程（案）の変更について

第2回理事会

令和5年5月27日（理事5名 監事2名）

(1) 報告事項

理事長の職務執行状況の報告

(2) 決議事項

第1号議案 令和4年度社会福祉法人博愛事業報告及び計算書類並びに
財産目録について

第2号議案 令和4年度本部事業報告及び計算書類について

- 第3号議案 令和4年度みんなの作業所事業報告及び計算書類について
- 第4号議案 令和4年度みんなの作業所共同生活援助事業報告及び計算書類について
- 第5号議案 令和4年度仁万の里事業報告及び計算書類について
- 第6号議案 令和4年度共同生活援助事業きぼう事業報告及び計算書類について
- 第7号議案 令和4年度高齢者事業部事業報告及び計算書類について
- 第8号議案 社会福祉充実計画について
- 第9号議案 みんなの作業所の不祥事案件について
- 第10号議案 次期役員候補について
- 第11号議案 定時評議員会の招集について

(3) その他

- 高齢者事業部事業運営の見直しについて
- 仁万の里 共同生活援助事業きぼう 虐待案件の報告について

第3回理事会

令和5年6月17日（理事7名 監事2名）

(1) 決議事項

- 第1号議案 理事長の選任について

その他

仁万の里車両購入の入札についての報告

第4回理事会

令和5年7月2日（理事6名 監事1名）

6. 議題

(1) 決議事項

- 第1号議案 定款変更について
- 第2号議案 役員報酬規程の変更について
- 第3号議案 役員旅費規程の変更について
- 第4号議案 業務執行理事の選任について
- 第6号議案 評議員会の開催について
- 第7号議案 令和5年度仁万の里第1回収支補正予算書（案）について

第5回理事会

令和5年9月27日（理事7名 監事1名）

(1) 決議事項

- 第1号議案 みんなの作業所給与規則（案）、仁万の里給与規則（案）、高齢者事業部給与規則（案）の変更について
- 第2号議案 みんなの作業所給与規則（臨時・パート・定年再雇用職員）（案）の変更について
- 第3号議案 共同生活援助事業みんなの作業所パート職員に関する給与規（案）の変更について
- 第4号議案 仁万の里給与規則（臨時職員・パート職員・定年後再雇用職（案））の変更について
- 第5号議案 共同生活援助事業所きぼうパート職員に関する規則（案）の変更について

第6号議案 高齢者事業部臨時的職員の任用に関する規程（案）の変更について
第6回理事会

令和5年12月2日（理事6名 監事2名）

(1) 報告事項

理事長及び理事長代理の職務執行状況について

(2) 決議事項

第1号議案 社会福祉博愛 準職員（有期）就業規則（案）及び準職員（無期）
就業規則（案）の変更について

第2号議案 共同生活援助事業所みんなの作業所 パート職員に関する規則（案）
の変更について

第3号議案 共同生活援助事業所きぼうパート職員に関する規則（案）の変更につ
いて

第4号議案 令和5年度みんなの作業所第2回収支補正予算書（案）について

第5号議案 令和5年度共同生活援助事業所みんなの作業所第1回収支補正予算書
（案）について

第6号議案 令和5年度仁万の里第2回収支補正予算書（案）について

第7号議案 令和5年度共同生活援助事業所きぼう第1回収支補正予算書（案）に
ついて

第8号議案 令和5年度高齢者事業部第1回補正予算書（案）について

第9号議案 共同生活援助事業所きぼう土地造成工事入札結果の報告について

(3) その他

① 高齢者事業部運営資金及び今後の事業運営について

② 令和6年度仁万の里正規職員採用試験実施について

第7回理事会（書面決議）

決議事項

第1号議案 グループホームあかり閉鎖に伴う運営規程の変更について
グループホームあかり削除、定員の変更

第8回理事会

令和6年2月17日（理事6名 監事2名）

(1) 決議事項

第1号議案 共同生活援助事業所きぼう 第2回収支補正予算書（案）について

第2号議案 共同生活援助事業所きぼう 新グループホーム建設について

(2) その他

共同生活援助事業所きぼう グループホーム（1棟）閉鎖について

第9回理事会

令和6年3月23日（理事6名 監事2名）

(1) 報告事項

理事長の職務執行状況報告

共同生活援助事業所きぼうグループホーム建設について

みんなの作業所運営組織について

博愛人事評価導入について

(1) 決議事項

- 第1号議案 みんなの作業所 給与規則及びみんなの作業所（臨時職員・パート職員・定年後再雇用職員）給与規則の変更について
- 第2号議案 仁万の里 給与規則及び仁万の里（臨時職員・パート職員・定年後再雇用職員）給与規則の変更について
- 第3号議案 高齢者事業部給与規則の変更について
- 第4号議案 みんなの作業所運営規程の変更について
- 第5号議案 障がい者支援施設仁万の里、福祉型障がい児入所施設仁万の里児童部、障がい者支援施設仁万の里（指定短期入所事業）、障がい児入所施設仁万の里児童部（指定短期入所事業）、共同生活援助事業所きぼう運営規程の変更について
- 第6号議案 高齢者事業部 運営規程の変更について
- 第7号議案 高齢者事業部運営資金短期借入について
- 第8号議案 令和5年度 博愛本部 第1回収支補正予算書（案）について
- 第9号議案 令和5年度 みんなの作業所第3回収支補正予算書（案）について
- 第10号議案 令和5年度 みんなの作業所グループホーム第2回収支補正予算書（案）について
- 第11号議案 令和5年度 仁万の里第3回収支補正予算書（案）について
- 第12号議案 令和5年度 共同生活援助事業所きぼう第3回収支補正予算書（案）について
- 第13号議案 令和5年度 高齢者事業部第2回収支補正予算書（案）について
- 第14号議案 役員損害賠償の加入について
- 第15号議案 令和6年 社会福祉法人博愛 事業計画・収支予算書（案）について
- 第16号議案 令和6年 みんなの作業所 事業計画・収支予算書（案）について
- 第17号議案 令和6年 みんなの作業所グループホーム 事業計画・収支予算書（案）について
- 第18号議案 令和6年 仁万の里 事業計画・収支予算書（案）について
- 第19号議案 令和6年 共同生活援助事業所きぼう 事業計画・収支予算書（案）について
- 第20号議案 令和6年度 高齢者事業部 事業計画・収支予算書（案）について

(3) その他

高齢者事業部について

4. 評議員会

第1回評議員会

令和5年6月11日（評議員6名 監事2名）

(1) 報告事項

令和4年度事業報告について

(2) 決議事項

- 第1号議案 令和4年度計算書類及び財産目録の承認について
- 第2号議案 社会福祉充実計画について
- 第3号議案 役員の選任について

(3) その他

みんなの作業所不祥事案件について

第2回評議員会

令和5年7月12日（評議員6名 監事2名）

(1) 決議事項

- 第1号議案 定款変更について
- 第2号議案 役員報酬規程の変更について

5. 役員等役職員研修

人権研修

事業所名	実施日	内容
仁万の里	7月14日 10月6日 10月20日	○令和5年度第1回人権擁護研修 障がい児・者の権利と虐待について
	令和6年 4月12日 4月19日	○令和5年第2回人権擁護研修 グループワーク・ロールプレイ ※施設内コロナ感染により、4月に延期
	2月20日	○島根県障がい者虐待・権利擁護研修（共通）
	2月26日	○島根県障がい者虐待・権利擁護研修 （障がい者福祉施設従事者コース）
みんなの作業所	8月19日	○虐待について～島根県社会福祉士会 毛利勇介氏～
	1月27日	○事例検討（グループワーク）
	1月	○ストレスチェック（全職員）
	3月25日	○虐待防止について研修報告会
		○コンプライアンス研修

役員研修

役員名	実施日	内容
池田監事 中西理事	6月28日	○令和5年度 社会福祉法人指導監査説明会、研修会

令和5年度 仁万の里事業報告

<仁万の里児童部>

児童数

性 別		就学前	小学部	中学部1年	高等部1年	高等部2年	高等部3年	18歳以上
入 所	男子			1 (措置)		1 (契約) 1 (措置)		
	女子						1 (契約)	

1. 具体的な取り組み

①個別支援

- ・児童それぞれの課題や身につけてほしい事柄にポイントをおいて個別支援計画を作成してきた。
- ・問題点や支援方法等、どうしたら良いか日頃から職員間で協議を行っている。また、定期的な支援会議を開催し統一した支援に取り組んでいる。

②情操活動

- ・季節ごとに色とりどりの壁画を作成することができた。また、児童も制作に参加することで自分が作ったという満足感と季節を感じてもらうことができた。行事、余暇活動は新型コロナウイルス感染症対策に従って可能なことを実施した。

③健康管理。

- ・学校保健法に順じて健康診断等を実施した。
- ・医療職員と相談・連携をとり体調観察及び受診を行った。
- ・家庭及び学校、関係機関と情報交換や連携を保ちながら、予防及び健康維持の取り組みを実施している

④連絡・諸連携

- ・家庭とは帰省予定を前月に確認して実施した。児童の様子については直接電話等で連絡を取っている。また帰省時に連絡ノートを利用して伝えている。児童部だよりを年4回発行し行事の様子を伝えている。
- ・児童が通学している隠岐養護学校と日常的な連絡は電話や連絡簿を利用している。年2回の連絡協議会、学担保育士連絡会は予定通り開催できている。

⑤おひさま教室及びひまわり教室

- ・おひさま教室は対象幼児1名に対して行っている。楽しく遊びながら療育活動につなげる内容で参加幼児の笑顔が多く良い取り組みとなった。また、保護者や保育所担当保育士との意見交換も実施した。
- ・ひまわり教室は新型コロナウイルス感染症の対策が徐々に緩和され、定期開催が出来る様になってきた。次年度は仁万の里児童部での開催も計画されている。

<施設入所>

1. 利用状況及び利用者数

- ・事業定員 60名 6年度50名に定員変更
- ・48名利用 男性27名 女性21名
- ・居室数50室 1ユニット10室個室 5ユニット
旧施設（分棟）は老朽化により使用していない。
- ・障がいの重度化及び高齢化が進み、身体的機能の低下により介護面での支援の重要度が増している状況で、車椅子や介護用ベッドを使用する利用者が増えてきている。その為、ストレッチャー式特浴や車椅子用特浴の利用頻度が大幅にふえた。また強度行動障がいの方の支援や環境整備のため施設見学等行い、昨年立ち上げた検討委員会を中心にユニット内での改修に向けて動き出している。

2. 個別支援計画において生活介護及び就労継続支援B型の利用者の支援の共通理解を図ると共に利用者の方に対して統一した適切な支援や介護が行えるように個別の援助プログラムを作成している。

【食事、排せつ、入浴、余暇支援、保健衛生、金銭管理】

- ### 3. 健康面において常に留意を怠らず医療職員と朝夕の引継ぎを中心に連携を図り疾病に対し早期発見、早期治療を念頭に置いている。新型コロナウイルス感染症の対策として、毎日の検温や消毒等の取り組みを継続し行っている。5類になったが、高齢者や基礎疾患を抱えている利用者の方が多く生活をされているため、感染症対策には十分配慮し支援を行ってきた。
- ### 4. 利用者の方に尊厳を持った支援や介護を取り組めるように、権利擁護や虐待防止の研修に全職員が参加してもらっている。また、今年度より各ユニットにリーダーを配置し、支援会議やケース検討会議の中でも支援基準の確認や点検を行っており、基準の理解度に温度差が出ないように取り組んできたが、次年度も重要課題として取り組んでいく。
- ### 5. 自治会活動について計画通りの活動ができていない。現在の利用者の状況に対してどのような取り組みが必要なのか明確にした自治会活動の在り方を作らなければならない。
- ### 6. 新型コロナウイルスの感染症対策のため制限されていた、地域に出かけての買い物や行事の参加、施設の各行事については、徐々に緩和し実施できるようにしてきたが、新型コロナウイルス感染症の為中止する行事もあった。次年度においては新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、可能な限り施設外での活動や行事が行えるようにしたい。

<生活介護>

1. 利用状況及び利用者数

- ・ 62名利用 男性36名 女性26名
 入所41名 通所21名（ホーム14名 在宅7名）
- ・ 障がいの重い方の日中支援事業として、利用者の希望や障がい特性を十分に考慮し、今年度より作業班形態を、生産型（1班）・中間型（3班）・機能訓練型（1班）に分け、5つの作業班を設定し取り組んでいる。
- ・ 楽しく生きがいにつながる活動設定を目標に各班活動内容を模索しながらサービスを提供しているが、障がいの重度化及び高齢化により介護面での支援が増えてきて、特に入浴支援の重要度が増し、職員や時間を取られるようになってきている。次年度において活動と介護のバランスをとりながら充実したサービス提供となるように計画していく。

作業班	利用者	職員	活動内容
きらめく班	19名	4名+（早番2名）	入浴、排せつ、食事介助、 運動機能維持、健康維持（通院、入院） 余暇支援、買い物・外食支援 創作活動、販売 調理活動 クラブ活動
ほのぼの班	11名	2名+（早番1名）	
なかよし班	14名	2名+（早番1名）	
わくわく班	11名	2名+（早番1名）	
ひだまり班	7名	3名	
合計	62名	13名+（5名）	

2. 利用者ごとに個別支援計画を作成し個々に必要な支援を関係部署と連携し統一した支援をしなければならないが共通理解ができていない状況も散見された。利用者への個別サービスの根幹となり得る部分なので個別支援計画について 全職員の認識を深めていく。（リーダー会議等で確認していく）
3. 新型コロナウイルス感染症対策の制限が緩和され、外出する機会も少しずつ増えてきており、買い物や散髪、地域の催し物への参加を計画しているが、重度化によりマンツーマンでの対応が必要な方が増えてきたことと、職員不足により十分な支援とはなっていない。年間を通した計画案をたて実施していく。
4. 各班の生産活動において労働という位置づけとしており、その対価としての工賃を支給している
 - ・ 各班工賃 月400円の支給
 - ・ 賞与 400円の支給（年1回）
 ○生産型生活介護班（ひだまり班）については、工賃支給要綱を定めている。

<就労継続支援B型>

1. 事業全体

- 令和4年度就B事業を利用されていた方が、新規に創設した生産型生活介護班へ5名異動し、年度当初29名の利用となった。その後2名が養護老人ホーム等へ、1名が一般就労へ移行により年度途中で退所された。そして新たに3名の方が利用となり、通年29名の利用だった。平均年齢は52歳であり、依然として高齢化が進んでいる。事業管轄職員については、どの班でも働けるよう勤務調整を行い視野を広げることができた。
- 新型コロナウイルス感染症が施設内で流行する時期があり生産活動に多少の影響があったが、昨年度に比べると、5類に移行したこともあり制限が緩和されたことにより事業を継続した。
- 工賃支給に大幅な影響はなく支給額は維持できている。利用者個人においては作業の役割を理解し取り組んでいる。
- 個別支援計画をもとに、目標設定をし利用者個々、職員が目標意識をもって取り組むことができた。

2. あおぞら班

- 園芸作業では年間計画表に沿って活動することができた。
- 生産型生活介護ひだまり班へ配達業務を委託し連携して取り組むことができた。
- 屋外作業が主であるため、とくに夏季については熱中症予防策を講じながら安全面に配慮し作業、支援に取り組んだ。

3. 加工班

- 昨年度、施設内にて新型コロナクラスターが年末に発生し、大幅な売上減となったが、今年度、年末餅受注作業は順調に製造することができ、過去最高額の売り上げをあげることができた。製造方法や配達など、作業効率や品質の向上についてフィードバックし、次年度に向けてさらにサービスの質を向上できるよう努めている。
- 利用者支援では見本どおりに完成できるよう継続して作業に取り組める環境設定を心がけた。少しずつ力がついてきている。
- 作業場の衛生管理や機械を扱う際の安全面の配慮やメンテナンスなど作業が安全かつ清潔で機械等のトラブルがないよう定期メンテナンスを実施した。従事者の衛生保持である手洗い、消毒は徹底して行っている。

4. リサイクル班

- 新規利用者が1名加わり、作業効率が上がってきたが、近い将来、とくに若年層新規利用者の担い手の確保が必要である。
- 極東サービスエンジニアリング（隠岐の島町より運転管理業務受託）とともに連携して業務をすることができた。

<短期入所>

1. 目的

自宅において一時的に支援が困難となった方や家族の方の負担を軽減していくこと或いは、安定したライフサイクルの確立等を目的として取り組んでいる。

2. 実施状況

①個々のニーズに基づいた個別支援計画を作成し、入所支援同様に具体的な支援プログラムを作成し統一した支援を行った。

②相談支援と連携し、相談や調整などニーズに応じた安定したサービス提供が出来るように取り組めた。

③児童部 【空床型】

毎 月 0名～2名の利用
年 間 97日利用（昨年97日）

④入所(者) 【空床型】

年々希望者が増えており、利用の調整を相談支援と連携しながら取り組んでいる。

毎 月 男女6名程度の利用
年 間 538日利用（昨年538日）

（入院等の利用者の居室利用の了解）

緊急的な対応として受けるケースもある。

<隠岐の島町日中一時支援>

1. 目的

隠岐の島町地域生活支援事業として町より委託されている事業である。

日中において施設を一時的に利用し(時間単位)、障害のある方の日中活動の場の提供や発達支援及び療育支援、また家族の就労支援や一時的な休息を図ることを目的として取り組んでいる。

2. 実施状況

①基本的には、一時的に安全を確保し利用していく事業であるが、個別の支援プログラムをもとにニーズに応じた支援を相談支援と連携し柔軟的に展開した。

・送迎、学習支援、基本的な生活習慣の獲得、行事参加

②児童 毎月男女3～6名程度 ⇒⇒年間 3,848時間（昨年3,502時間）

③みんなの作業所においても西郷地区のお子さんの日中一時支援を開始しており仁万の里の一極集中が少しでも緩和されている。

④今年度から児童部での金曜日利用を開始させているが、職員不足もあり毎週の受け入れが出来ないときもある。

⑤成人の利用について、次年度より利用依頼があり定期的に受け入れを実施していく。

<島根県療育支援事業>

1. 目的

島根県の委託事業として、施設の持つ専門性を生かし、隠岐圏域における在宅障がい児・者の生活を支えていく相談・療育支援及び関連機関等への療育指導を行っていくことを目的とする。

2. 実施状況

- ①関係機関及相談支援と綿密に連携し、ニーズに基づき必要時に専門性を生かした適切な支援が展開できるように取り組んだ。
- ②主に児童についての療育支援を実施。成人については相談支援事業所「にじ」が行っている。
- ③「おひさま教室」や「ひまわり教室」は児童部参加で定期開催する事ができた。
- ④外来療育事業は保育所と連携を取りながら取り組むことができた。児童の相談を通し家族支援も行っている。適切な情報や支援を相談事業所と連携しながら今後も取り組んでいく。
- ⑤専門性を生かした療育指導、発達支援の部分ではまだ十分に支援を展開できていない。学習会や研修等に積極的に参加し職員の質の向上に努めていく事が必要となっている。
- ⑥事業実績

【委託事業件数】

	令和5年度	令和4年度
訪問療育事業（一般）	10 件	4 件
訪問療育事業（医療）	0 件	0 件
外来療育事業（一般）	10 件	23 件
施設指導事業	10 件	13 件

<相談支援事業所にじ>

1. 事業概要

障がい者の自立の促進と共生社会の実現に向けた支援を心掛けながら、障がい者及びその保護者等からの生活全般の相談に応じ、本人の意思と人権を尊重しながら、必要な助言、情報提供、関係機関との調整を行った。

2. 事業内容と課題

①特定相談支援事業（基本相談、計画相談）

専任1名、兼務2名

相談の件数が多くなり、専任職員の業務量が増えている。

職員配置等（専任配置）複数体制が望ましい。

②一般相談支援（基本相談支援、地域移行支援・地域定着支援）

地域での生活を支える為に重要な事業であり、依頼もあるが、支援量が多く定員3名を周知し支援を行った。

③委託相談支援事業（隠岐の島委託事業）

障がいのある者児の様々な問題に応じ助言、調整等を行っているが、障がい児の業務量が多く苦慮している。

3. 研修等

職員のスキルアップのための島根県相談支援専門員協会が実施するweb研修に定期的に参加した。

4. 相談支援実施件数

①特定相談支援

契約者数 143名（148名）

サービス利用支援 90件（90件） モニタリング支援 564件（567件）

②一般相談支援

地域移行支援 0件 地域定着支援 3件27回（3件）

隠岐の島町委託相談 1,632件（1,674件）

< 研修委員会 >

1. 基本方針

研修等を通じて職員個々が必要な知識、スキルを身につけ、専門性を高め、社会人、そして福祉職員として倫理観を正しく認識し、業務を遂行できる人材育成を目指す。

2. 重点取組

- ・ 人権擁護研修会を計画的に開催し全職員対象に正しい考え方や知識および支援スキルを学ぶ
- ・ 各部署会議等において会議主幹が 15 分程度研修、勉強する時間を設け倫理や支援スキル等の勉強会を行い職員の資質の向上に努めていく。
- ・ 仁万の里の理念、運営方針、職員の支援基準についてさらに認識を深め仁万の里の職員としての誇りと福祉職員としての専門意識を高める。
- ・ テーマを決め重点的に行っていく研修会を計画する。
- ・ サポーターズカレッジ（オンライン研修）により職員個々のスキルアップを図る。

3. 人権擁護研修実施状況

- ・ 第 1 回権利擁護研修会 対象 全職員
内容 講義 「障がい児・者の権利と虐待」
講師 元松江学園園長 山崎俊行氏
開催日 7 月 1 4 日（金） 1 0 月 6 日（金） 1 0 月 2 0 日（金）
コロナ感染対策の為 3 回に分けて全職員対象で行った。
- ・ 第 2 回権利擁護研修会 対象 全職員
内容 グループワーク（ロールプレイによる事例検討）
仁万の里の各部署においてグレーゾーンと思われる事例を題材として 5 人程度のグループを 5 組に振り分けて全 4 回開催した。
開催日 2 月 9 日（火） 2 月 1 6 日（金）
コロナ感染が施設内に広がったため残り 2 回は次年度の 4 月 1 2（金）
4 月 1 9 日（金）に行っている。

令和5年度 共同生活援助事業所きぼう 事業報告

地域の住民の協力やバックアップ施設の支援を受けながら、障がいのある人たちの地域社会での当たり前の暮らしを実現していくとともに、地域生活の場を拡大していくことを目標に取り組んでいます。

1. 各ホームの利用定員及び職員・従事者配置 (人)

	もくれん	ながみ	にまホーム	ひまわり	いつき	みなずき	はるかぜ
入居者定員	4	5	4	6	5	6	6
管理者	1 (兼務)						
サービス管理責任者	2 (専任)						
世話人	1	1	1	1	1	2	2
世話人(食事)	0	0	0	0	0	1(非常勤)	1(非常勤)
夜間支援従事者	0	0	0	0	0	3	3
支援員	3 (専任)						

	夕陽ヶ丘	汐の浜	さやま	憩の家	やなホーム
入居者定員	4	4	4	5	4
管理者	1 (兼務)				
サービス管理責任者	2 (専任)				
世話人	1	1	1	2	1
世話人(食事)	0	0	0	1(非常勤)	0
夜間支援従事者	0	0	0	1	0
支援員	3 (専任)				

※世話人の休みの日は、副世話人が入る。

2. 事業の状況

- 利用者の個別支援計画に沿って支援を行い細かな支援や変更などの支援は会議等で確認し共通した支援を行った。
- ホーム世話人との連絡会を偶数月に、みなずき・はるかぜ奇数月に都万・西郷地区のホームを行い情報提供や共有し、また意見交換を行えた。
- 新型コロナウイルス感染症の対策のため旅行は行うことができなかったが町内での買い物やドライブなどをして入居者が少しでも楽しめる取り組みを行った。
- 年3回、衛生活動月間として入居者、従事者がともに意識をもって居室等の環境美化や入居者個々の衛生保持の支援に努めた。

3. 会議

- 地域生活支援会議 毎月1回、事業計画及び事業活動の協議、通所事業地域生活の連携に関わる協議
- 支援ミーティング 毎日 グループホームの現況報告及び連絡事項の共有

4. 防火訓練

全ホーム計画通りに行うことができた。

5. 新たなグループホーム建設について

令和7年度開設に向けて補助金の活用が必須であるため、補助金交付のための申請を行ったが令和5年度補正予算枠においては不採択となった。したがって令和6年度予算において再度申請する。

- 6. 2名の入居者が高齢者施設等へ移行、12月にはもくれんの入居者1名が急死されたことにより、入居者の大幅減が生じたため、入居者配置の整理を実施した結果、建物の形状等を鑑み、令和6年2月29日を以ってにまホームを閉所した。したがって総定員が56名から52名へと変更した。またにまホーム閉所により、従事者の配置転換を行った。
- 7. きぼう所管内において世話人による虐待事案が年度当初に発生し、虐待防止センターへ通報した。改善計画では従事者の管理体制に問題があるとして世話人に対し毎月3回を限度に他のグループホームで勤務することとし、また従事者の識見や権利擁護、コンプライアンス遵守の意識を向上させるための指導をした。

令和5年度 「みんなの作業所」 事業報告

1. みんなの作業所概要

令和5年度は、利用者48名（就労B42名 生活介護6名）職員24名でスタートした。新規利用者4名、就職者1名、他事業所へ異動1名、高齢者施設への異動と2名が退所した。

不祥事案件については、6月1日、2日に渡り着服金額の返済があり、理事会、評議員会での報告後、6月21日に利用者に返金した。作業収入の取扱いは、作業収入取扱い要領に則って取り組んでいる。

不祥事案件により、就労継続支援B型の作業班を4班から3班にする。各班利用者の人数が多くなっているが、それぞれに工夫をし、利用者の合わせた作業提供をしている。

今年度の重点取り組みとして、「整理整頓」を提示した。「整理整頓」の意味を職員が共通理解し、目的意識をもって取り組むことで、業務がしやすい職場環境作り、業務の効率化、安全性の向上を図ることを目的とし、事業計画に折り込み、利用者、職員ともに自分たちの持ち場を整理整頓する意識をもって取り組んでいる。

2. 事業活動

就労継続支援B型事業

① クリーニング班（利用者26名 職員5名）

ほほえみ班からクリーニング班に異動なった新メンバーが増え、大幅に人数が増えた。作業の工程を細分化し、利用者それぞれに合った作業の提供に努めた。

新規取引先が増え、コロナ感染対策緩和等により、作業量が増えた。燃料高騰等に対応した価格に変更したこともあり、収入もかなりアップとなった。

② 加工班（利用者13名 職員3名）

作業班の体制が変わり、新たに4名の利用者が加わった。惣菜や役場の掃除も加工班の作業となった。色々な作業体験をすることで、利用者ができることの発見があった。

今年度、作業体制が変わったことで、さつまいもを作ることが出来なかったが、(株)くべるより、無償でさつまいもをわけて頂き、スイートポテトを作ることが出来た。今後も地域との関りを繋げてられる取り組みとしたい。

③ 福祉ショップ（利用者3名 職員1名）

10:00~16:30の営業時間を9:30~16:00と変更する。ショップの客層に合った時間帯となった。7月にソフトクリームの機械が故障したことにより、

かき氷の販売を行った。夏場の製品が1つ増えた。ソフトクリームは職員が作っていたが、利用者もできるようになり、職員が不在のときも販売することができるようになった。今年度の重点取り組みである、利用者だけでの営業を目指す取り組みでは、レジの開け閉め、売り上げの計算もできるようになり、月に1~2回、利用者だけの試験営業を行う。一人ひとりが確実に力をつけ、自信に繋がった。

生活介護事業（利用者7名 職員4名）

今年度の重点取り組みとして、作品を通して地域の方に「みんなの作業所、なないろ」を知ってもらう取り組みをする。

展示場所	展示品
隠岐病院	ちぎり絵「ドリームおおはし」
観光協会	牛突きモニュメント「おきのうしつき」
図書館	ステンシル「うま」

生産活動では、利用者の書いた文字使用の名刺が好評だった。きょうされんの販売も数を増やし、収入に繋がり、年度末手当を支給することができた。

3. 総務部

4月22日	職員親睦会
6月10日	保護者会総会
10月14日	保護者会主催研修会
11月3日	ふれあいまつり
12月9日	みんなで作る発表会
1月15日	とんど焼き
2月3日	節分豆まき
3月23日	青年学級

保護者会主催研修会は、仁万の里まつりにより、期日を変更。

青年学級交流会は、感染症蔓延により、3月に各施設にて簡易的に実施。

保護者会総会では、不祥事案件の返金や日中一時の拡張等を報告する。

ふれあいまつりは、4年ぶりに通常開催。第30回記念イベントには、コウメ太夫のお笑いライブを行い、盛況に終わることができた。

4. 指導部

自治会行事

① 9月1日 日帰り旅行

悪天候により、日程が延期されたが、「和を感じようツアー」と題して、レインボーの往復日帰り旅行を実施。プラント5で買い物、弓ヶ浜で昼食、足立美術館を鑑賞した。コロナ感染対策で島外へ出ることが出来なかった期間が長かったので、

みんながとても楽しめた。

② 12月28日 忘年会

シーサイドホテル MIYABI で恒例の忘年会を行う。カラオケやビンゴゲーム等を行い、楽しく賑やかに年を締めくくることができた。

直前にコロナの感染者が出たが、会食はプラザホテルにて黙食で行い、作業所に帰り、ビンゴゲームやゲーム等で盛り上がった。

③ 2月24日 カラオケ大会

4つのチームに分かれて対抗戦で行いました。歌わない人も楽器等での応援をし大いに盛り上がったカラオケ大会となった。

④ 1月13日 自治集会

次年度の自治会行事の話し合い、施設に対する要望を出して頂く。

指導部行事

① 夏休み作業所へ行こう

事業所内コロナ感染者発生により中止。

② 交流会

コロナ感染対策のためにみんなの運動会は中止となっていたが、今年度は仁万の里との交流会を実施する。

カローリング大会、画像間違い探し等のゲームで楽しんだ。久しぶりに仁万の里の利用者や職員と交流し、楽しい時間となった。

③ みんなで作る発表会

みんなの作業所の日常の風景を題材にし、みんなの作業所のいいところ「みんなが思いやりをもって助け合っている」様子を発表できた内容になった。

作業チラシの配布 6/18 新聞折り込みで実施

にこにこショッピング（所内での販売会）

5/26 所内製品の販売

8/30 月あかりカフェ、くすぶるハウスの方に来所いただき販売

1/19 成人式と一緒に実施

3/15 カナリヤパン、三共製菓、所内製品を販売した。

にこにこショッピングは、利用者がとても楽しみにしている行事となっている。

自分でお金を使うことがなかなか難しい方も、自分でお金を払って品物を買うことで、働く意欲にも繋がるような取り組みとなっている。

5. 研修委員会

今年度の重点取り組みとして、専門性の高い研修会や他施設見学等を通して、個々の見識を深めることであったが、コロナ感染症の状況により実地研修の中止や他施設の見学の受け入れが難しく未実施となった。しかし、オンラインの研修等積極的に受講することで職員のスキルアップを図ることができた。復命書が期限までに出ない人が

いる事が課題であるので、施設の代表として、研修に参加しているという自覚を持つように取り組んでいく。

6. 安全対策委員会

施設避難訓練 年2回 9/13 施設総合訓練 3/11 に実施

応急手当講習 心肺蘇生法、AEDの使用について 7/8

福祉ショップ通報訓練 7/31 実施

非常災害の発生を想定し、迅速確実な通報伝達、安全な避難誘導の訓練

グループホーム 7/20 7/12 9/28 11/14 3/13 3/22 実施

交通安全講習会 10/20

歩行者の交通ルール指導講習及び機材を使用した反射神経テスト

ゴーグルを使用した泥酔状態歩行等を行った。

7. 保健委員会

健康診断 8/24 実施 利用者 39名 職員 11名

10/2 実施 利用者 3名

協会健保 10/3 10/4 10/11 10/18 10/19 実施

職員 18名 (1名体調不良のため未実施)

歯科検診 染め出し、磨き残しチェック

なないろ 7/20 加工班 7/23 クリーニング班 1月に実施

インフルエンザ予防接種 在宅の利用者 6名に 11/21 実施

ストレスチェック 全職員 1月実施

薬箱の整理 6月 12月に実施

コロナ感染が7月末と2月末ごろに何名か発症する。ホーム等居住が同じだと感染が拡大した。

8. 給食委員会

長年給食に携わっていただいた職員が、退職された。昨年、引継ぎを行いながら業務を行うことで、給食を作ることに 대해서는スムーズに移行できた。職員体制がなかなか調整できない時期もあったが、8月1日より、臨時職員が入ったことによって、人的環境が整った。

物価高騰で300円等という単価での給食の提供は厳しかったが、毎月の新メニューやお楽しみ献立等、利用者が楽しみとなる給食や利用者の状態の合わせた(刻み、骨取り、血糖値に配慮)提供ができた。

また、食中毒の意識を持ち、衛生管理業務を徹底した。

9. 人権擁護委員会

2月24日 職員行動規範、虐待防止規程等の見直し及び職員周知

他の職員に対するチェックリスト報告

リスクマネジメントについて

虐待防止チェックリスト（毎月実施）

集計及び報告（年4回 7、10、1、4月）実施

虐待防止チェックリストを毎月行う。3ヶ月に1回集計をし、職員に周知を行った。パーセンテージの高い、利用者の呼称については、強化月間を実施することで、意識を持ち取り組むことができた。

10. 苦情解決委員会

2月24日 自治会・カラオケ大会に参加

普段とは違う行事の様子を第三者委員の方に見て頂く。

利用者も職員も誰一人参加していない人がおらず、みんなが楽しんでいてとても素晴らしいと評価が得られた。

3月15日 今期の苦情についてと来年度の事業計画についての説明をする。

※グループホーム見学は実施できなかった。

11. 権利擁護内部研修委員会

8月19日 虐待防止について

講師：島根県社会福祉士会 毛利勇介氏

誰にでも偏見の心はある。だから研修会等での知識を積んでいくことが大切であるとのお話しがあった。

1月27日 事例検討（グループワーク）

虐待の芽について検討し、芽を早期に発見できるチーム作りについて話し合う。

3月25日 虐待防止研修会の報告

虐待の起こる仕組みや対策についての報告を行った。

12. 広報委員会

作業所だよりについては、発行の期限を守ることができなかった。

13. 地域貢献委員会

6月18日 隠岐の島町ウルトラマラソン応援

9月24日 あじさい剪定

ウルトラマラソンの応援については、今年度は作業所のたこ飯や豚汁の提供を行ったが、暑さも残り残ったが、利用者がランナーへの応援やスプレー等でのランナーとの関りはとても素晴らしく、達成感が持てる活動となった。

あじさい剪定については、地域の開催日に合わせて、早出をして行った。岬町の区長さんが声を掛けてくださり、地域の方が、作業所が選定したあじさいをトラックに積み込んで下さり関りを持つことができた。

14. 研修委員会

職場内研修

実施日	講師名	内容
10月28日	相談支援専門員 社会福祉士 野津敦子	○意思決定支援について
※ 身体拘束については実施できなかった。		

施設外研修

実施日	研修名
4月14日	○新人若手社員合同研修
7月19日	○相談支援従事者初任者研修
7月25日	○サービス管理責任者更新研修
8月2日～3日	○福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース
8月23日～24日	○サービス管理責任者基礎研修・児童発達支援管理者基礎研修
10月13日	○電子帳簿保存法対策セミナー
10月16日	○令和5年度 労務士研修
11月22日	○サービス管理責任者更新研修
12月4日、5日	○施設建設に伴う見学
1月31日	○人権・権利擁護研修
2月26日	○虐待防止・権利擁護研修
3月4日～5日	○クリーニング事業施設見学

今年度は、動画で学べるサポートカレッジを導入し、コンプライアンス研修や新人職員研修、支援員会で個別支援計画の作成についての研修を取り入れた。

15. 日中一時支援事業

日中一時事業に名前があるといいという意見から「嬉しいとき、困ったときてとてを取り合い、ぬくもりを感じられるように」との思いを込めた「てとて」と名前が付けました。

○登録数 7名

○利用者 月～金 3名

土曜日 4名

長期休暇 2名

今年度は、利用者の登録数が増えた。長期休暇の受け入れについて、隠岐の島町の課題となっていたが、専属の職員を配置したことで受け入れ体制を確保した。

夏休みは、事業所内にコロナ感染者が入り、受け入れが出来なかったが、冬休み、春休みは2名の子どもを受け入れた。1名はどこの事業所に行っても本人の拒否があり、保護者は「日中一時の利用はできない」と諦めておられたが、てとての利用に繋がり、喜んでいました。

令和5年度みんなの作業所共同生活援助・総括

あかりの藤本ノブエさんが10月27日に高齢者施設へと移行した。11月17日、24日GHの利用者の引っ越しを行い、さららの脇坂さんがゆうゆうへ、ゆうゆうの重栖いずみさんとあかりの渡辺さんがさららへ、あかりの堤さんがゆめへ異動となった。あかりが利用者ゼロとなるので廃止とする。

斎藤朝子さんが、2月16日に高齢者施設へと移行となり、ゆめが4名に。

1. バックアップ施設の業務

ア. 世話人勤務日及び業務内容

①世話人

・業務日誌・ケース記録等の提出物はほぼ提出されている。ケースを出せない方を出せる豊富尾を検討する必要がある。ゆうゆう入浴に米津さん、泊りに福本さん、あかり、ライムに土井さんが新しくはいった。11月よりゆうゆう食事作りにシルバー人材センターから火、木と派遣されることになった。

・8月いっぱい美甘さん、つばさ世話人が9月いっぱい退職。境さん、堺さんの体調不良やコロナで長期の休みが見られた。年齢的にも、泊りに入れる人を増やしていく必要がある。

イ. バックアップ施設の業務

・ライム・ゆうゆうは世話人不在が続いていて、つばさも一時期不在となった。

2. 年間行事

・調整会議

支援員がGHの代休等でそろそろことがなかなかできず、木曜日に行くことは少なかったが、週末には行うことが出来た。

・担当者会 できない時もあったが、おおむね予定通りできた。

・世話人会 10/24 実施。

ポイントカードの利用について、あかりを閉めることや、作業所とホームの連絡の体制を整えることや、情報交換が行われた。

3/21 実施

生活費の科目・内訳の見直し、次年度の事業計画や、サービス提供記録の変更や、職員体制の報告や、買い物・クーポンの話し合いが行われた。

・GH連絡協議会

GH拠点事業がなくなり、仁万の里として新しくGHを立てることとなったため、次年度からはGH連絡協議会はなくなった。

3. 地域との関係

・春の一斉清掃

各GHで参加。世話人が休みの所は支援員と一緒に参加した

4. 余暇支援

・3/31 五箇で行われた、桜水仙フェスティバルに希望者を募り参加した。

5. 環境整備

・森のアキレスけん断裂に伴い、除草剤をまく程度で終わった。

総評

・ライム・ゆうゆうのメイン世話人の不在、つばさのメインの世話人の退職でしばらく世話人不在、あかり廃止後にあかりのメインの世話人がつばさに異動と、職員不足が続いた。世話人・調理員が高齢化してきているので、今後の体制に課題が残る1年となった。

令和5年度「中条デイサービス」事業報告

1. 事業内容

- 通常規模デイ（1ヶ月の平均利用延べ人数が300人を超え750人以内）
 - ・営業日 月曜～金曜（盆休暇 8/13・16、年末年始休業 12/30～1/3）
 - ・定員25名、サービス提供時間：9時30分～15時45分
 - ・通常の事業実施地域 隠岐の島町
- 日中一時支援事業
- 訪問介護事業
 - ・営業日 年中無休 ・営業時間 8時15分～17時15分
 - ・事業実施地域 隠岐の島町
- 居宅介護支援事業
 - ・営業日 月曜～金曜（祝日は休業、年末年始休業 12/29～1/3）
 - ・営業時間 8時15分～17時15分
 - ・事業実施地域 隠岐の島町

2. 受託事業

- 介護認定審査委員
 - ・中条デイサービス
- 日中一時支援事業
 - ・中条デイサービス
- 隠岐の島町要介護認定調査
 - ・居宅介護
- 隠岐の島町介護予防マネジメント
 - ・居宅介護

3. 利用状況

○中条デイサービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人員	322	358	346	309	302	319	324	322	300	262	291	300	3,755
開所日	20	23	22	21	22	21	21	22	21	19	21	21	254
1日平均	16.1	15.5	15.7	14.7	13.7	15.1	15.4	14.6	14.2	13.7	13.8	14.2	14.7
稼働率	64.4	62.2	62.9	58.8	54.9	60.7	61.7	58.5	57.1	55.1	55.4	57.1	59.1

*10月19日 職員確保ができないため臨時休業。

1月24日：大雪のため臨時休業。

○訪問介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人員	4	5	4	4	4	4	4	5	4	3	4	4	49

○居宅介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人員	41	42	41	39	39	39	40	38	37	35	34	35	460

4. 介護度別利用状況

○中条デイサービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	20	18	18	20	18	19	19	18	19	18	20	19	226
予防	26	25	25	23	20	21	23	21	21	18	19	20	262
日中	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	9
計	46	44	43	44	38	41	43	40	41	37	40	40	497

*新規利用者： 5名 (要介護 1名、要支援 4名)

*利用終了者： 12名 (長期入所 6名、施設変更 2名、状態悪化 3名、その他 1名)

○訪問介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

*新規利用者： 0名

5. 行事实施

- 4月 玉転がしゲーム大会、こいのぼり作り
- 5月 お菓子釣り、スポーツウィーク
- 6月 御霊会馬入れ、中村デイ交流会、誕生会
- 7月 七夕祭り、避難訓練
- 8月 盆踊り、夏祭り
- 9月 誕生会、敬老の日
- 10月 スポーツ大会、ハロウィン
- 11月 南中学校職場体験、栗拾いゲーム大会
- 12月 誕生会、クリスマスゲーム
- 1月 書初め、福を呼ぶぞ！玉引きゲーム大会
- 2月 節分ゲーム、バレンタイン
- 3月 誕生会

令和5年度 「中村デイサービス」 事業報告

1. 事業内容

○通常規模（中条デイサービスサテライト事業所）

- ・営業日 月曜～金曜（盆休暇 8/13・16、年末年始休業 12/30～1/3）
- ・定員15名、サービス提供時間：9時30分～15時45分
- ・通常の事業実施地域 中村・布施

2. 受託事業

○なし

3. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人員	173	141	135	129	121	127	118	106	87	80	87	84	1,388
開所日	20	23	22	21	22	21	21	22	21	19	21	21	254
1日平均	8.6	6.1	6.1	6.1	5.5	6.0	5.6	4.8	4.1	4.2	4.1	4	5.4
稼働率	57.6	40.8	40.9	40.9	36.6	40.3	37.4	32.1	27.6	28.0	27.6	26.6	36.4

*10月19日 武良祭で職員確保ができないため臨時休業。

1月24日：大雪のため臨時休業。

4. 介護度別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	10	5	5	5	4	5	4	3	3	3	3	3	53
予防	7	7	7	7	7	7	7	8	7	7	7	6	84
計	17	12	12	12	11	12	11	11	10	10	10	9	137

*新規利用者： 4名（要介護 2名、要支援 2名）

*利用終了者： 7名（長期入所7名）

5. 行事实施

4月 花見ドライブ、桜餅作り

5月 運動会、紙相撲中村場所

6月 かやまき・かたり饅頭作り、誕生会

7月 七夕祭り、北小3・4年生との交流会、そうめん流し

8月 夏祭り、蓬莱苑との交流会

9月 敬老会、誕生会

10月 運動会

11月 スイートポテト作り、きたっこ発表会見学

12月 浄土ヶ浦祭り作品展示、クリスマス会、誕生会

1月 書初め、新年会ゲーム

2月 節分祭（手巻き寿司昼食）、おやつ作り（パインケーキ、クレープ）

3月 押し寿司作り、誕生会

令和5年度 「蓬莱苑」 事業報告

1. 事業内容

○地域密着型通所介護（定員18名以下）

- ・営業日 月曜～金曜（盆休暇 8/13・16、年末年始休業 12/30～1/3）
- ・定員15名、サービス提供時間：9時00分～16時10分
- ・通常の事業実施地域 布施・中村

○高齢者生活福祉センター

- ・蓬莱苑：入所定員16名

○配食サービス事業

2. 受託事業

○隠岐の島町配食サービス事業

3. 利用状況

○通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人員	169	187	186	186	195	185	176	188	189	161	165	179	2,166
開所日	20	23	22	21	22	21	22	22	21	19	21	21	255
1日平均	8.4	8.1	8.4	8.8	8.8	8.8	8.0	8.5	9.0	8.4	7.8	8.5	8.4
稼働率	56.3	54.2	56.3	59.0	59.0	58.7	53.3	56.9	60.0	56.4	52.3	56.8	56.6

* 1月24日：大雪のため臨時休業。

○配食

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延食数	117	133	144	143	159	143	135	143	147	140	162	184	1,750
実人員	10	10	12	11	11	11	10	10	10	10	11	11	127

○居住

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人員	270	250	270	248	248	241	220	237	248	248	206	248	2,934
実人員	9	9	9	8	8	9	8	8	8	8	8	8	100
稼働率	56.2	50.4	56.2	50.0	50.0	50.2	44.3	49.3	50.0	50.0	44.3	50.0	50.1

4. 介護度別利用状況

○通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	11	11	11	12	12	12	14	11	11	12	11	11	139
予防	7	6	7	7	7	7	5	7	7	7	5	5	77
計	18	17	18	19	19	19	19	18	18	19	16	16	216

*新規利用者：8名（要介護 5名、要支援 3名）

*利用終了者：7名（長期入所 5名、施設変更 1名、死亡 1名）

○配食

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
予防	6	6	8	7	7	7	6	6	6	6	7	7	79
障がい	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
実費	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	10	10	12	11	11	11	10	10	10	10	11	11	127

*新規利用者：2名（要支援 2名）

*利用終了者：0名

○居住

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	6	6	6	6	6	7	7	6	6	6	6	7	75
予防	3	3	3	2	2	2	1	2	2	2	2	1	25
計	9	9	9	8	8	9	8	8	8	8	8	8	100

*新規利用者：6名（要介護 3名、要支援 3名）

*利用終了者：7名（長期入所 6名、死亡 1名）

5. 行事实施

4月 お花見ドライブ、クッキング（カレーライス）

桜祭りクッキング（ちらし寿司）、桜祭り

5月 おやつ作り（草餅）、ゲーム大会、春日神社祭参詣

6月 ちまき作り、柏餅作り、父の日お楽しみ昼食

7月 七夕、七夕お楽しみ昼食、ゲーム大会、クッキング（焼きそば）

8月 盆踊り、夏祭り

9月 クッキング（焼きそば）、敬老祝クッキング（ひき餅作り、おはぎ作り）

失禁予防体操

10月 運動会、お楽しみ昼食（ちゃんぽん）、ハロウィン

11月 クッキング（カレーライス）、紅葉ドライブ、お楽しみ昼食（鍋）

12月 クリスマス会（ケーキ作り）、忘年会

1月 書初め、新年会（ぜんざい作り）、クッキング（お好み焼き）

2月 節分お楽しみ昼食（恵方巻）、バレンタインデー（チョコレートケーキ作り）、初釜

3月 ひな祭りクッキング（押し寿司）、ホワイトデー、お彼岸（ぼた餅作り）

お楽しみ昼食

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人 博愛